



ウチヤマタイムズ



UCHIYAMA HOLDINGS
ウチヤマホールディングス
グループ
東証一部上場
(証券コード:6059)

(株)ウチヤマホールディングス 〒802-0044 福岡県北九州市小倉北区熊本2丁目10-10 電話:093-551-0002
発行日:令和2年7月20日 編集:岡田直紀・八尋有紀・小橋佳絃里 監修:内山文治・吉岡信之

実録レポート

—10—
年七月 社長賞受賞

新型コロナウイルスとの奮闘の日々～さわやか鳴水館～



櫻木施設長

五月二十八日に入居者のA様が骨折され、北九州市内の病院に入院となり、レントゲンに肺炎像が映っていたことから念の為PCR検査の対象となりました。発熱やせきなどのコロナと疑われるような症状はまったくなく、施設内の感染症予防も十分に行っていたつもりでした

それから十日間、気が休まらない日々が続きました。職員やその家族、入居者様やその家族様の不安は大きく、施設への問い合わせが止まりませんでした。デイサービスは五月三〇日から六月十六日まで休業し、特定施設の新規受け入れとショートステイの入居・退去もその期間はストップしました。私も五月二十九日から施設に約一週間泊まり込み、職員と情報共有しながらお客様や家族様の対応を行っていました。職員自身も感染リスクの不安を抱える中で「とにかく今やることを全員で必死にやろう」と呼びかけ、北九州市の介護保険課や保健所の方々のご指導・ご協力を頂きながら、日々の介護業務の見直しと改善、館内の消毒等を行ってきました。

しかしそんな努力も空しく、別の病院に入院されていた方など新たに四名の入居者様にコロナ感染が発覚しました。どこまで感染が広がっているのか予測もつかず、私たちも心が折れそうになつていて、内山社長をはじめウチヤマグループの仲間たちから温かい寄せ書きが届き、施設に来てくれているヤクルト様からも差し入れを頂くなど、私たちに関わる多くの人たちが支えてくれたおかげで、入居者様の対応を続けることができました。その後、濃厚接



櫻木施設長と鳴水館のスタッフによる入居者様への献身的な対応に、社長賞が贈られました。

触者となる九十二名のPCR検査では、「一人の感染者も出ませんでした。

今回コロナに感染した入居者のB様は「私が罹るなんて思つてもいませんでした。すごく怖かつたけど、病院の看護師さんも優しかったし、施設に戻つて皆さん優しく迎えてくれたので安心しています」と退院後にお話をしてくれました。

さわやか俱楽部の施設で最初にお客様の感染が発覚し、どのように対応してよいか分からぬ状況下で、さわやか鳴水館の職員が一丸となって対応してくれ、無事収束を迎えることができました。二度と経験したくはありませんが、すごく勉強になりました。これからも継続して感染症対策に努めるとともに、私たちの経験で他の施設に役立つことがあれば積極的に協力したいと思います。多方面から助けて頂いた方々には感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございました。(さわやか鳴水館／施設長・櫻木 良太)



第14回 定時株主総会開催

6月24日の午前10時から、北九州市のJR九州ステーションホテル小倉において、株式会社ウチヤマホールディングスの第14回定時株主総会を開催しました。今年は新型コロナウイルス対策として、受付で来場者の検温を行い、役員やスタッフも全員マスクを着用するなど、通常とは異なる雰囲気の中での総会開催となりました。開会宣言の後、内山文治社長を議長として総会を執り行いました。事業報告の後に株主からの質疑応答があり、その後4つの議案がすべて承認可決されました。新型コロナウイルスの影響もあって例年に比べると出席株主数は減少し、所要時間28分のコンパクトな株主総会となりました。

今回の総会では取締役の選任も行われ、監査等委員である社外取締役として、公認会計士の神尾康生先生が新たに選任されました。また、株主総会終了後の取締役会において代表取締役を2名体制とすることが決定し、山本武博専務が「代表取締役専務・経営企画室長」に就任しました。



今年の9月でさわやか俱楽部に入社して3年になります。石の上にも3年とよく言いますが、3年では足りないくらい日々の変化が見られるのが児童福祉の世界だと感じています。大学の児童発達学科で専門知識を学び、卒業後は児童養護施設の職員になりました。最初は自分のやりたい仕事ができることに喜びを感じていましたが、施設の中で障がいを持つ子ども達と関わるうちに、そういう子ども達に特化した支援をしたいと感じるようになりました。その決意を胸に入社したのが、さわやか俱楽部の「愛の家」でした。

入社後は「児童発達支援管理責任者(児発管)」として個別の支援計画を考えたり、アセスメントやモニタリングを通じてご家族の皆さんと情報を共有したりしながら、より良い支援ができるよう職員と一緒に対応しています。児発管は職員の育成も職務に含まれています。自分の指導一つで職員の質が問われる緊張感がありますが、何より私たちは未来ある子ども達の支援を行う立場です。そのためならどんな困難なケースでも諦めずに支援を行っていきます。時にはうまくいかないこともありますが、次に生かせる経験となるならどんどん挑戦しますし、職員にも積極性を失ってほしくありません。その挑戦の一つひとつが私のやりがいとなっています。

さわやか俱楽部に入社して3つの事業所を経験しました。特に嬉しかったことは、昨年北九州の事業所から秋田への異動が決まった際、サプライズで子ども達や職員から色紙やプレゼントを貰ったことです。職員には伝えていましたが、まさかこのような形で送り出していただけるとは思わず、目頭が熱くなったのを覚えています。子ども達が一生懸命書いてくれた色紙は今でも自宅で大切に保管して、気持ちを高めたいときに読み返しています。子ども達がこのように温もりのある人に育ってくれたことが大変嬉しく思います。

プライベートでは音楽が好きで、毎年夏には大型の野外フェスに行っていました。今年は難しいですが、来年は夏の暑さを感じながら音楽を全身に浴びて楽しむことです。アウトドアにも興味があるので、いつか友人とキャンプをするのが楽しみです。

今の目標は「さわやか愛の家さくら館」が子ども達にとって笑顔でいられて成長できる場所であること、そして地域に根付き必要とされる存在であり続けることです。私たちの仕事に終わりはありません。今後も愛の家の管理者・児発管として、子ども達と真剣に向き合って成長のサポートを行い、職員一人ひとりが立派な人財になるよう育成に努めていきます。何より私自身の可能性を広げるきっかけを下さった内山社長やさわやか俱楽部の仲間への感謝の気持ちを忘れず、これからも成長していきます。

ハハ
輝くスタッフをご紹介

キラリ 一等星



センター長

かず うみ

石田 一海さん [33才]

さわやか愛の家さくら館

[秋田県秋田市]

ベスト日報賞

ウチヤマグループで
働く皆さんの日報を
ご紹介します！



みき 酒造 英二さん

さわやか中原(なかばる)館

福岡県北九州市

本日は、日報を書くのに帰宅時間が遅くなる日が続いている職員がいるとの指摘があり、少しですが指導させていただきました。過去の主任者会議で、竹村専務より日報の書き方を教えてもらったことを思い出し、ノートを引っぱり出してきて指導させていただきました。改めて私自身も勉強になりました。少しわかってもらえたのか、その職員の日報の仕上がりもわざかに早くできた気がします。職員に教えることで、私自身が教えられている毎日だなあと日々思います。このような機会があると相乗効果で事業所が良くなっていくので、必要なことだと感じました。



中島 雪子センター長

さわやか愛の家あだち館

福岡県北九州市

土曜日の調理レクリエーションを担当させていただきます。新型コロナウイルスの影響で、3ヶ月以上学校給食がありません。利用児童の中には、家庭で十分な栄養が取れていないと想われる児童もいます。インスタント食品を食べることも多い子どもたちですが、自分たちで作る楽しさ、栄養のある食事の大切さを少しでも感じてもらえるレクリエーションにしたいと考えています。好き嫌いが多い子もいますが、自分で作り、友達と食べることで克服できることもよくあります。作業面では個々に合ったレベルで安全に行えるよう配慮しながら、楽しく有意義なレクリエーションにします。

産んでくれて育ててくれてありがとう

私は大分県佐伯市で生まれました。これまで27年間大きな病気をすることもなく健康でいられるのは、家族の支えのおかげだと感謝しています。

小学生の頃は祖母がごはんを沢山作ってくれ、母や祖父が送り迎えをしてくれました。中学生からは部活や遊びなどで夜遅くに帰ってくる時もあり、心配や迷惑を散々かけてしまいました。それでも、いつも味方でいてくれる存在に頼ってばかりでした。佐伯から出て働く決めた時は、離れて暮らすことに反対せず「何かあったらいつでも帰っていいよ。いつ戻って来てもいいようにしておくからね」と言って見送ってくれました。その後も「ご飯はちゃんと食べているか?米や野菜がなければ送るよ」といつも連絡をしてくれ、改めて家族から深い愛情を受けたいたのだと知りました。

母も今は佐伯から離れて暮らしていますが、いつも連絡をくれて話をしています。実家は佐伯にありますので、私も定期的に帰って祖父母の世話をできるようにしています。実家には両親もおらず、近所の方も高齢者ばかりなので、自分が出来ることをして恩返しをしています。まだ親孝行らしいことは何一つできていないかもしれません、仕事を通じて成長をしている姿を見せられれば、と思います。

これからも、色々と迷惑をかけると思いますが、温かく見守っていてください。産んでくれて、育ててくれて、本当にありがとうございます。



島川 大輝さん

さわやかさかのいち館

大分県大分市

受付の方が年寄りに親切でした。八〇歳の私の誕生日で、仲良し二人で楽しんできました。機種も新しく、点数が甘いのか九〇点多かったよ。（静岡県静岡市・久保田様より）

さわやかわっこ館

コロツケ倶楽部 大分勢家店

おぐらさんは毎回良い接客をしてくれます。料理もおいしい（特にみそ汁）です。住んでいるところにもコロツケ倶楽部がありますが、接客も良いし気持ち良くカラオケを楽しめています。コロナの関係で大変だと思いますが、また遊びに来ます。（山口県宇部市・藤本様より）

またよりのご紹介



さわやかだより

日々更新される施設のブログから一部をご紹介します。



さわやかあびこ館 千葉県我孫子市

あびこ館のシンボル ヤマモモの木

さわやかあびこ館のシンボル、ヤマモモを収穫しました。少し大きめなサクランボくらいの大きさで表皮は粒状の突起でボコボコとしています。花言葉は「教訓」や「ただ一人を愛する」だそうです。黒に近い赤色になれば食べごろです。どんどん収穫していきましょう。真っ赤なヤマモモ美味しそうです。枝切バサミと園芸用ハサミで収穫。入居者様にもお手伝いしていただきました。いつもありがとうございます。

今回はジャムとシロップを作り、力ナッペとジュースにして入居者様に提供致します。また、その様子をブログにてお伝えしていきます。ブログもご覧ください。(福元 麻友)



さわやか桜館 秋田県仙北市

消防訓練!



消防訓練をしていきましょう。お客様の活躍をご紹介します。消防器を使うことがあまりないので、興味津々に参加いただきました。始まる前から楽しい表情ゲットです。

消防隊の方から使い方の説明が始まると話を真剣に聞いています。指導を受けながら実際に扱ってみました。はじめてとは思えないくらいに上手と言われていました。火災が起きることを想定しての訓練になりますが本当の火事は起きないでほしいですね。普段から準備をしておけば本当の時にどのように動いたらよいかわかります。防災に対する意識をみんなでしっかりと持ちましょう。ご協力いただいたみなさん、今日は本当にありがとうございます。(蛭川 麻衣)



さわやかながれやま館 千葉県流山市

流山そうめん!



流山そうめんの日、あいにくの雨模様でしたがあきらめないで施設内を行いました。どこでやっても楽しいながれやま館のレクリエーション。カッコイイリーダーがそうめんを流してくれました。そうめんゲットできましたか。皆さま上手にゲットして召し上がっています。コツをつかんだら皆さま上手です。この先はどうなっているか敷地内の屋外へ。ちゃんと受けザルを設置しました。いつもですが職員も楽しんじゃいました。野菜も流したのですが思いの外流れが速くなかなか取れませんでした。流しそうめんななか取れなかったり取れすぎたり、楽しかったですね。(藤島 真州美)



ホクホク調理レク

先日収穫したジャガイモを使って調理レクを行いました。時間がかかるのでフロアごとに順番に行います。大きさがバラバラだけど、午前中に皆さんで剥いていました。

ホットプレートに投入!チーズを入れて蒸し焼きにします。ジャガイモのチーズ焼き。熱々を頂きました。美味しいで幸せです。(秀島 知華子)



誕生会!

7月生まれのお友だちの誕生会を行いました。みんなでおたんじょうびのうたを歌ってお祝いしました。先生からのプレゼントをもらってパシャリ。

【おはようクレヨン】をアレンジしたスケッチブックシアターもみんな真剣に見てくれました。完成したケーキをぱくり。おやつのケーキも美味しいそうに食べていました。これからも元気いっぱい。大きくなつてね。お誕生日おめでとう。(田中 梓)

竹の子ごはんレク

皆様こんにちは。昼食レクの様子をご紹介します。2Fスタッフが竹の子を採ってきたので、竹の子ごはんレクです。入居者様に切り込みなどのお手伝いをしていただきました。ありがとうございます。やはり、手早くお上手でした。

調理はスタッフで行いました。味付けも丁度よく、皆様とても喜んでいました。皆様黙々と召し上がっておりました。昼食レクは大成功に終わりました。(近藤 麗美)



梅酒作り!



梅酒作りのご様子、お伝え致します。事前に凍らせておいた青梅です。一つ一つ丁寧に拭き、氷砂糖と交互に瓶の中へ。ゆっくりお酒を注いで下さいました。

皆様、ご協力、どうもありがとうございます。皆様の思いが詰まった梅酒、出来上がりが、楽しみです。(西島 美希恵)



MESSAGE

from

PRESIDENT



ウチヤマグループ代表 内山 文治



笑顔の輪で仲間づくりをしよう

第2四半期がスタート

六月二十四日にウチヤマホールディングスの第十四回株主総会が行われました。今年は新型「コロナウイルス」の影響もある中で、感染防止のために様々な配慮をしながら準備をしてきました。例年よりも小規模で時間も短縮した開催となりましたが、株主の方々にもご理解をいただき、限られた時間の中で会社の現状や課題などについてしつかりとお伝えすることができました。また、株主総会後の取締役会では、山本専務が「代表取締役専務・経営企画室長」に就任しました。新しい体制のもとで各事業所が連携をしつかりと取りながら、グループ全体の成長のために自分たちができる役割を意識して行動します。

七月からは二〇二一年三月期の第2四半期がスタートしました。四月～六月の第1四半期においては緊急事態宣言の発令によって営業ができなかつた事業所も多くあり、業績に大きな影響を与えました。「コロナ」の発生によって社会の生活様式も変わっていく中で、どのような形で売上や利益を確保していくかを全員で考えながら、新しさとともに積極的に挑戦していきましょう。

企業の業績を向上させるためには、職員一人ひとりがどのようなモチベーションで仕事に取り組むかがとても重要になります。現在さわやか俱楽部では、施設職員に対する管理者面談が進められています。多くの職員が日々の仕事にやりがいを感じて働いてくれている一方で、中には職場での人間関係がうまくいかずに悩んでいる職員もいるようです。そういう時には、なぜ自分が今の仕事をしているのか?何のためにウチヤマグループに入社したのかを、もう一度思い起こしてほしいと思います。「お客様第一主義」の基本理念にもあるように、お客様の喜ぶことが私たちの喜びであり、それを実現するために仲間と協力して楽しく働くこと、その価値観が共有されなければ、解決方法は必ず見つかると思います。

さわやか直方館の事例紹介

福岡県直方市の「さわやか直方館」では、介護リーダーを務める山本加代子さんの双子の息子さん(ともに高校二年生)が、昨年の五月

から授業のない週末や長期休暇などを利用して、直方館でアルバイトとして働くようになりました。高校では太鼓部に入っていた、昨年直方館で開催した夏祭りには、十五名くらいの仲間と一緒にボランティアで太鼓を披露してくれました。そのことがきっかけで友人にも声をかけ、今年の三月からは同級生二名もアルバイトを始め、七月にもさらにもう一名の友人が働いてくれることになりました。

栗原施設長によると、その高校生の職員達はいつも笑顔で楽しそうに働いてくれていて、若い職員のパワーが施設の雰囲気を明るくしてくれるおかげで、入居者様や職員同士の会話も増えたそうです。入居者様も彼らがやって来る週末を楽しみにされていて「~したほうがいいよ【私がしてあげるよ】と、入居者様の方から職員へアドバイスや教えをいたたく機会が増えています。施設の花壇を手入れする際には、彼らが園芸好きの入居者様から指導を受けながら、慣れない作業も積極的に取り組んでくれるので、とても助かっているそうです。そして、高校生の職員のうち三名が卒業後に直方館で介護の仕事に就きたいと希望してくれているそうです。

笑う顔に福きたる

いつも明るく前向きに笑顔で行動する人には、同じ思考を持つ明るい人が自然と集まっています。職場においても、私たちが毎日楽しく働いていれば明るい人が集まり、より楽しく働くことができるはずです。さわやか直方館では、山本リーダーが自ら楽しく仕事に取り組んでいるからこそ、息子さんを自分の職場に連れて来ようと思いつ、職員や入居者様が温かい雰囲気で彼らを迎えてくれたおかげで、その友人まで紹介してくれるようになつたのだと思います。七月に行われた全体会議で奥エリ亞マネジャーから直方館での事例報告を聞き、まさにウチヤマグループが目指している理想の組織作りを実践してくれていることに、心から嬉しく感じました。

私はよく「笑う顔に福きたる」と言います。せつかく縁あつて知り合った仲間同士、一日のうち長い時間を一緒に過ごす仕事の中でも、仲良く楽しんで働かなければ本当にもつたいないと思います。ウチヤマグループの理念と哲学を全員で共有し、毎日楽しく笑顔で仕事に取り組んでいきましょう。



さあ、読んでみよう！今月の推薦本をご紹介！

1 力の結晶

～中村天風 真理瞑想録～(中村 天風)

4 中学生までに読んでおきたい哲学(1)愛のうらおもて

(松田 哲夫編)

2 サル化する世界

(内田 樹)

3 還暦からの底力

～歴史・人・旅に学ぶ生き方～(出口 治明)

5 なまえのないねこ

(竹下文子文／町田尚子絵)

ライフマップで 生きがい発見!!

story
13

おされた所で咲けばいい

さわやかあびこ館 [千葉県我孫子市]

熊本出身のヤエ子様は現在90歳。さわやかあびこ館のオープンと同時に入居され、1年8ヶ月がすぎました。「私の部屋の窓から筑波山が見えるのよ。とてもいい眺め」とあびこ館をとても気に入っています。今回は、ケアプラン作成に沿ってライフマップを使い、色々とお話をお聞きしました。

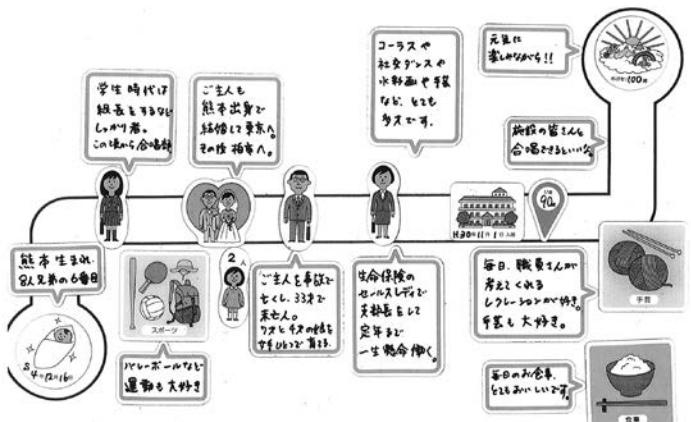


学生時代を熊本で過ごし、同じ熊本出身のご主人との結婚を機に東京へ。その後千葉県柏市へ移り、2人の娘さんに恵まれました。ところが、ヤエ子様が33歳の時にご主人が事故で亡くなり、その時娘さん達はまだ4歳と7歳。自分がしっかりしなくてはいけないと思ったそうです。それからは、生命保険のセールスレディとして一生懸命働き、支部長として定年まで勤めあげたと話されました。「大変でしたね」と声をかけると「私はいつもプラス思考で行くと決めているの」と力強くお話をされました。

そんなヤエ子様はとても多才でいらっしゃいます。趣味を伺うと、コーラス、社交ダンス、水彩画、手芸などたくさん出てきます。水彩画に関してはプロ級の腕前。入居の際はヤエ子様の描いた水彩画をいくつか寄贈していただき、施設内に飾っています。とてもやさしい風景画ばかりです。居室にもたくさんの絵が飾られています。



毎日の日課は、新聞を読むことと日記をつけること。娘様が用意してくれる「何でもノート」が今では4冊になっており、中を見せていただくと細かく日々のことが書いてあって、ヤエ子様の人柄が感じられます。



日々の生活の中での楽しみをお聞きすると「毎日職員さんが考えてくれるレクリエーションが素晴らしい、食事がとても美味しい、手芸教室も作品が完成する達成感があるから好き、あつという間に1日が終わる」と前向きな言葉ばかり出てきました。そして「おかれたところで咲けばいい」という言葉をさらっと言われたのです。思わず私が「いい言葉ですね」と言うと「私は毎日自分がそこにいる意味を考えています。プラス思考でね」と言われ、90年生きてこられたヤエ子様の言葉がとても重く感じ、感動しました。そして、私が必死にメモをとる姿を見て「ずいぶん勉強熱心ね」と褒めてくださいました。



次に話してくださったのは、合唱コンクールの思い出でした。以前あびこ館で入居者様によるファッショショーンショーを開催した際に、ヤエ子様が若い頃合唱コンクールに出場した時のドレスを着られていたことを思い出しました。とても素敵なお顔で「施設の皆さんと一緒に合唱ができたらいいわね」と話されました。あびこ館には歌が好きな入居者様や音楽好きな職員が多く、ギターサークルもあるくらいです。そこで「あびこ館の歌」を作詞・作曲した宮本リーダーが中心となり、活力朝礼の時に全員で「あびこ館の歌」を歌うことになりました。入居者様には難しい曲のようにも感じますが、ヤエ子様は早く曲を覚える為に他の入居者様と歌詞カードを見ながら練習し、交流を深めています。施設でイベントを行う時には皆で合唱を披露できるように練習を続けます。

これからも入居者様のケアプラン作成時にライフマップを活用しながら、その方の生きた言葉を拾っていきます。そして「あびこ館に来て良かった」と思っていただけるような支援ができるよう、職員全員で一致団結し頑張って参ります。(松本 美貴子)



第5回 フラワーコンテスト

さわやか倶楽部で第5回目となる施設対抗のフラワーコンテストが行われました。各施設とも工夫を凝らして飾り付けた玄関周りの花いっぱいの写真をもとに、本社の社員による厳正な投票によって審査を行った結果、昨年から2年連続で「さわやかあびこ館」が1位に輝きました！



第2位 さわやかながれやま館
(千葉県流山市)

第3位 さわやかグループホームなすしおばら
(栃木県那須塩原市)

笑顔と涙のお別れ

インドネシアからインターンシップのために来日し、北九州市内のさわやか倶楽部の介護施設で実習を行っていた9名の学生が、7ヶ月の研修期間を無事に終えてインドネシアに帰国しました。各施設では送別会が開催されました。花美館ではインターンシップ生がインドネシアの伝統舞踊を披露してくれ、入居者様にも職員にも惜しまれながらの帰国となりました。これから現地の看護学校に戻りますが、卒業後には一人でも多くさわやか倶楽部に職員として帰ってきてほしいと思います。(金森 彩)



優勝者の喜びの声

昨年に続いて優勝させていただき、たいへん光栄です。さわやかあびこ館の「ウェルカムガーデン」はこれからも四季折々の花を咲かせ、皆様に楽しんでいただけるよう入居者様と共に頑張ります。(さわやかあびこ館・園芸部一同)



熊本県南部の豪雨被災者受け入れについて

全国で高齢者施設を展開する株式会社さわやか倶楽部では、7月3日から4日にかけて熊本県南部で発生した記録的な集中豪雨によって被災された高齢者の方々を対象に、介護施設での無償受け入れを行っています。

1. 対象となる方

要介護認定を受けられた概ね65歳以上の高齢者(要支援1～要介護5)

2. 受け入れ条件

①入居費用:無償

②受け入れ可能施設:さわやか倶楽部が運営する全国の有料老人ホーム
※ご希望の地域を確認後、施設の空室状況等に応じて調整を行います。

3. 連絡先

株式会社さわやか倶楽部 TEL.093-551-5555 (担当:吉岡・川村)

こんにちは 赤ちゃん



こころ
仲田 心咲ちゃん
2020年6月26日生まれ

第三子となる次女が誕生しました。コロナの影響で面会等が出来ない中、妻が本当に頑張ってくれました。これからも家族で協力し合える、素敵な家庭を目指していきます。



パパ グループホームたいよう
ホーム長・仲田 剛

あなたの悩み話してみませんか？

さわやか相談室

お気軽にどんなことでもご相談ください。
お電話、メールお待ちしております！

電話番号

090-9497-5764

メール sawayakasoudan@docomo.ne.jp

ひとりで
悩まないで！

